

樹脂被膜でコスト低減

トシャフト式摺動

【名古屋】協和工業

(愛知県大府市、鬼頭佑

治社長、0562・47

・1241)は、低コス

トのステアリング機構用

常時摺動式シャフトを

開発、2013年春に量

産を始める。常時摺動式

は製造コストが高く、一

部の高級車にしか採用さ

れていない。同社は摺動

部に樹脂コーティングを

施し、従来比約30%コス

トを低減した。国内自動

車メーカーに主力のステ

アリングジョイントとセ

ットで供給する。14年1

月期は売上高1億円を計

画する。

協和工業が来春量産

ステアリング機構用シ
ャフトはステアリングの
操舵力を伝達する機構の
一部。シャフトの両端に
ジョイントを取り付け

る。現在は固定式のシャ
フトが多い。
ただ、固定式はシャフ
トにかかる負荷が大き
く劣化しやすいため、音
や振動が発生する問
題があった。一
方、一部車種に採
用されている摺動
式は摺動部にポー
ルベアリングを使
っており、コスト
が高い。

協和工業はナイ

.....

協和工業が開発し

た低コストのステ

アリング機構用常

時摺動式シャフト

ロンをコーティングして
スムーズに摺動させるス
プラインシャフトを開発
した。

シャフトの歯の形状や
数を独自設計し、0・1
ミリのレベルの薄膜を均一
にコーティングできるよ
うにした。これによって
切削量を大幅に削減し
た。シャフト自身も引き
抜き加工を工夫して工程
数を削減し、コストを抑
えた。

同社はステアリングジ
ョイントを含むユニバー
サルジョイントのメーカ
ー。12年1月期の売上高
は27億円。

